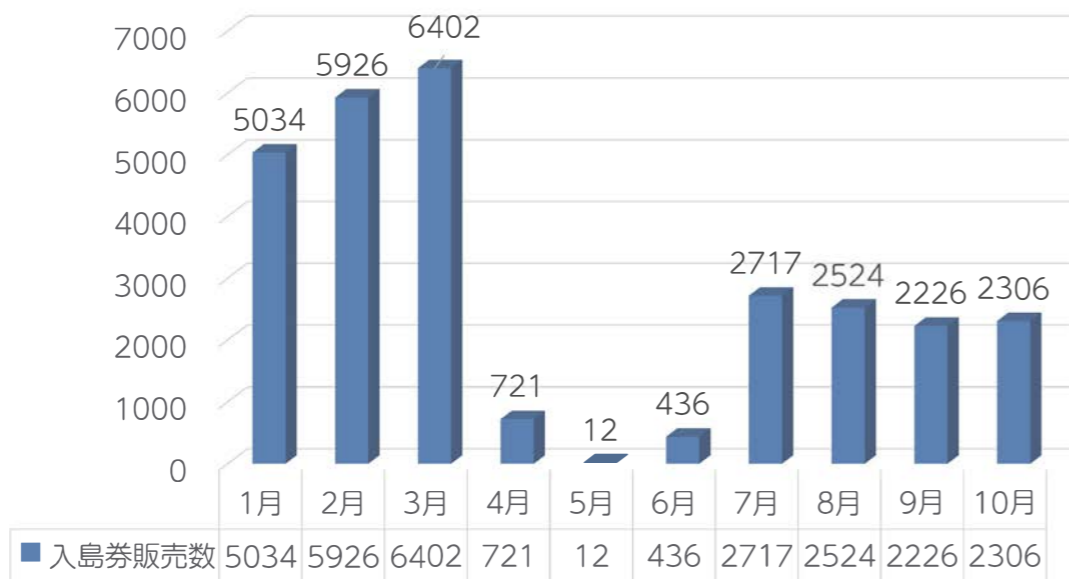


07 1月～10月入島料收受実績

2020年1～10月の入島料收受実績は下記のようになります。ご覧いただいた通り新型コロナウイルスの影響で4月以降の收受実績はとても厳しいものとなっております。今後とも収受率UPのため、ご協力をよろしくお願い致します。

入島券販売数



お知らせ

財団公式インスタグラムを開設いたしました。日々の財団の活動を発信していきますので右のQRコードよりフォローをお願いいたします。またホームページも島と一緒に暮らしている生き物たちの一部を紹介するページや海外のお客様用に英語バージョンを開設しております。お時間のある時に是非ご覧ください。

竹富島 財団



TAKETOMIJIMA_ZAIDAN



一般財団法人
竹富島地域自然資産財団

〒907-1101
沖縄県八重山郡竹富町字竹富 207-1
TEL:0980-85-2800 FAX:0980-85-2801
MAIL:info@taketomijima.okinawa



© Maehara Motoo

竹富島では、そんなに遠くない昔。
あまり便利とは言えないけれど
自然体で暮らせる心豊かな時代がありました。

私たちは入島料で、島がいつの間にか失ってしまったもの、
忘れてしまったものを取り戻すべく活動を進めてまいります。

01 ツーリズム EXPO ジャパン

宜野湾市にある沖縄コンベンションセンターで10月29日～11月1日に開催された世界最大級の観光総合展示会であるツーリズム EXPO ジャパンに出展してきました。沖縄で初開催されたこのイベントは、国内外から285の企業・団体が参加。新型コロナウイルス対策として完全予約制で実施。29・30日は「業界日」で観光関連業者・団体・公官庁・メディア関係者が来場。31日と1日は事前予約した一般客が来訪し、会期中2万4千人以上が来場しました。財団としては、思うように入島料の収受率が上がらない現状を鑑み、「旅マエ」での周知を徹底するため各観光関連業者約30社と商談を行い、島が目指している観光の姿をお伝えすることが出来ました。また、いくつかのメディアに取材をしていただき島の魅力や保全活動の内容などのPRを行いました。一般来場者の方々にはアンケートにお答えいただき、そのお礼として「草玩具」や「結いのお守り」「方言ステッカー」などを返礼品としてプレゼントさせていただきました。このコロナ禍の中でも人と人の繋がりを感ぜられる非常に有意義な展示会となりました。



02 環境省補助事業開始

環境省の『令和2年度（補正予算）国立・国定公園への誘客の推進事業費及び国立・国定公園、温泉地でのワーケーションの推進事業』での採択を受け、財団では「まいふなーツーリズム」と総称し新たな「環境教育ツアー」と「観光協議会」設立に向けた取り組みを開始しました。「環境教育ツアー」では、島の人々が島の魅力を伝える新たな環境ツアー開発に取り組んでいます。「観光協議会」では島内観光事業者が一体となり観光ルールなどの発信を一步目の目標とし、日々試行錯誤を続けています。本事業における途中経過は財団HPや財団SNS、季刊誌等でご紹介します。



03 ナージカーの生態系調査



仲筋井戸の生態系調査を行いました。調査時の水深は1.8m。タモ網やカニかごを使用したところカニやメカニ、ハリオガニ(陸封型)の3種類を捕獲することができました。島のなかで貴重な淡水域となる生物環境。今後ほかの井戸の調査も行っていきます。

05 もち麦植付け



トラクターを利用した耕作放棄地の再生拡大や手作業による除石作業畑への追肥などを繰り返し行い、もち麦播きを実施しました。種まきの後には魔除けの三結びを畑に挿し、豊作を願う祈願をしました。今後も様々な作物を植付ける予定です。

04 アメリカハマグルマ駆除



緊急対策外来種として指定されているアメリカハマグルマ。世界の侵略的外来種ワースト100にも選定されていて島の生態系を脅かす可能性のある種として早期の対策が必要となっています。事前に調査と実験を繰り返し、今回大規模な駆除作業を試行しました。

06 頑張る地域応援プロジェクト



竹富町の補助事業である「令和2年度頑張る地域応援プロジェクト活動事業」の採択・交付を受け、島内すべての観光事業者向けに非接触型消毒用アルコール・ディスペンサーの配布を行いました。(補充用のアルコールはまちなみ館入り口に設置しております。)